

姜詒治裁

2 肝は剛臓である

肝為剛臓、職司疏泄...林佩琴(清)

肝体陰用陽...葉天士

(肝は剛臓、疏泄を司る)

(肝は陰を体とし陽を用とす)

剛は剛強暴急を意味し、肝の病変は急躁・けいれん・強直・動風など肝陽の過亢による
急激・緊張・躁動を呈する症状があらわれやすい

「はげしい」ということ

肝は「陰を体とし陽を用とす」と言われ、肝の陰血をもとに陽気が作動し、肝陰の柔潤によ
って肝陽の剛強を抑制し和らげる

柴胡・芍薬の薬材が肝の疏泄失調に効果がある。

この時、芍薬は肝の陰血を補うことで「イライラ」などの
症状を抑えることが出来る。《柔肝》

3 肝気は春に通じる P.8

肝は五行の木に属し、肝気は春に旺盛になる

「春は肝臓、
春三月、是れ肝臓の旺す時也。」

肝気が旺し、春の到来を
知らせること。

春に気が昇らない人、気が昇る処方で柴胡が入る。

→ 補中益気湯 P156

柴胡... 疏肝解郁 (肝気をのびやかにし、気滞をのぞく)
これ、肝気と相克する。柔肝薬を配合可也。

《肝の病理》

a) 疏泄の失調

気機の失調... 肝胆の経絡上に張りや痛みがあらわれる

精神の失調... 急躁易怒(イライラ・怒りっぽい)、憂うつ感、猜疑心、ため息

消化の失調... 脘腹脹満、噯気(ゲップ)、下痢 or 便秘、口苦口粘、嘔吐、消化不良

* 脾胃との関係が深い P.9 相克(木克土)

b) 血の不足

血は潤いをあたえるため、不足すれば乾燥があらわれる

肌の乾燥、ドライアイ(目に開竅す)、髪がパサつく(髪は血の余り)、爪がもろい(その華は
爪にある)、面色蒼白、月経量少、経血色が薄い、舌質淡白

* 貧血キ血虚
ヘモグロビン値 12.0g/dL

c) 筋の異常

肝の陰血が不足すると筋の栄養が行われず筋に病変があらわれる

筋肉痛、拘急(ひきつり)、麻木(しびれ)、運動障害

「68番めろの？」と来る。ぐらい有名。筋がキュッと5分、2時、2.3ものゆるめる。

❖ 肝の病理的な特性

1 経絡上にあらわれる

肝経... 胸脇部、少腹、陰部

胸脇・少腹の脹痛、月経不順、月経痛、陰部瘙痒

胆経... 側頭部、耳の周囲、目

片頭痛、耳鳴、突発性難聴、こめかみ・耳周囲の湿疹、目赤腫痛

- ・ 運動をし、筋肉がこる。
- ・ 寝ているときに足がこる。
- ・ 熱中症の初期にこむらざり。

共通点は「汗」。汗は陰分

2 脹る

「脹った痛み、脹って苦しい」

頭脹痛、胸脇脹満(苦満)、腹脹満、乳房脹痛、少腹脹痛

孫悟空
(緊箍兒)
キンゴジ